

分類	意見	区分	
位置	・ 駅複合がよい。文化交流館なら道路整備が必要。	第2回ワークショップ	
	・ 位置は若い人＝吉備国の学生が使えるもの。JR駅近く	第1回ワークショップ	
	・ 騒音を気にしたら自由なスペースがなくなる	第1回ワークショップ	
	・ 広い駐車場が絶対条件、交流館南がよい。	第2回ワークショップ	
	・ 交流館・文化会館との連携で交流館南の駐車場が良い。	第2回ワークショップ	
	・ 新図書館の位置は「文化センター駐車場」が望ましい。「カルチャーゾーン」	第1回ワークショップ	
	・ 新しい物(建設)は、行わず交流館を利用する	第2回ワークショップ	
	・ 市街地建設との併合がなぜ出なかったのか	第2回ワークショップ	
	・ 現在の図書館は老朽化、狭隘化の理由として取りこわされる運命にあるのか？他に市有地で適地はなかったのか、疑問である。	第1回ワークショップ	
	・ 現在の図書館の所は…学園に近いのでは…。	第1回ワークショップ	
	・ 近くに飲食出来るところあり。立入自由にしたい。	第1回ワークショップ	
	・ 仕事帰りに立ち寄れる	第1回ワークショップ	
	・ オシャレ！場所として魅力がある	第1回ワークショップ	
	・ 若い人達が集まる、興味が湧く。	第1回ワークショップ	
	・ 図書館で会おうやといえる図書館	第1回ワークショップ	
	・ 学生が利用できるような魅力あるところ	第1回ワークショップ	
	・ 地域の活性化となる図書館	第1回ワークショップ	
	・ 誰もが行きたくなる図書館	第1回ワークショップ	
	・ 本に興味がなくとも入りたいと思う	第1回ワークショップ	
	・ 動的な図書館	第1回ワークショップ	
	・ 身ぢかに、気がるに行けるところへ	第1回ワークショップ	
	・ 人が集まる図書に…。(公民館的要素をもつ)	第1回ワークショップ	
	・ 複合施設(青少年センター、市民活動支援、子育て支援、生涯学習)	第1回ワークショップ	
	・ 基本方針 市政内容との関連	第2回ワークショップ	
	建物	・ 障がい者が行ける図書館	第1回ワークショップ
・ ハンディキャップのある人でも利用しやすいシステムの構築を希望する		第1回ワークショップ	
・ エレベーター 車イスOKで。		第2回ワークショップ	
・ とにかく年配者が気軽に行ける。		第2回ワークショップ	
・ バリアフリーの重点施設		第2回ワークショップ	
・ 若年、老人、市民全体利用		第2回ワークショップ	
・ 誰でも集える		第1回ワークショップ	
・ 明るい図書館		第1回ワークショップ	
・ 明るい図書館		第2回ワークショップ	
・ 誰でも入りやすい		第1回ワークショップ	
・ 環境への配慮において太陽光発電を配慮すべきである。空地利用対策である。		第1回ワークショップ	
・ 環境等の配慮のみならず構造の前提条件でLED電球、断熱構造にも配慮すべきである。		第1回ワークショップ	
・ 快適である		第1回ワークショップ	
・ 木のぬくもりが感じられる建物		第2回ワークショップ	
・ 水戸岡鋭治さんのデザインの建物		第2回ワークショップ	
・ 外観は、白黒などのお城イメージ		第2回ワークショップ	
・ 広場や屋上で(戸外で読みたい)		第1回ワークショップ	
・ 管理、運営、機能、施設内容		第2回ワークショップ	
・ 長期的、未来への利用の中でどの様な図書館？		第2回ワークショップ	
・ オープンな図書館(ドアなし)		第1回ワークショップ	
・ 天井高く 平屋		第2回ワークショップ	
・ 何か一つ、他館とは違う特徴がある図書館		第2回ワークショップ	
スペース		・ 本をまくらにコーヒーをのみたい	第1回ワークショップ
		・ お茶でも飲みながら	第1回ワークショップ
		・ 飲食コーナー(弁当を持っていける)	第1回ワークショップ
	・ スモールカフェを営業してみたい。	第1回ワークショップ	
	・ ゆっくり時間をすごす。コーヒーをいただく。	第1回ワークショップ	
	・ カフェテラス的な場所を	第2回ワークショップ	
	・ 図書館に長時間滞在できるようにドリンクバーのような物を導入して欲しい。	第2回ワークショップ	
	・ 喫茶店を併設する。カフェテラス連動して。 ・ コーヒーを飲みながら本を読む	第2回ワークショップ	

分類	意見	区分
スペース	・カフェ	第2回ワークショップ
	・高梁紅茶がのめる	第2回ワークショップ
	・学習室	第1回ワークショップ
	・生ガイ学習に利用しやすい図書館へ	第1回ワークショップ
	・館内で調査、学習のできる学習室において住宅事情などで、学習に集中できない受験生が集中して学習できる学習室を用意すべきである。	第1回ワークショップ
	・勉強	第1回ワークショップ
	・情報を得る	第1回ワークショップ
	・学ぶ	第1回ワークショップ
	・読書会(少人数で好きな本をかたりあいたい)	第1回ワークショップ
	・図書館で話しをしたい(友人といきたい)	第1回ワークショップ
	・図書館に2~3人、5~6人の人数で話をするスペースがほしい。	第1回ワークショップ
	・すてきな本で、感想を出しあいたい	第1回ワークショップ
	・コミュニケーションの出来る所になってほしい。	第1回ワークショップ
	・人と話しながら使いたい	第1回ワークショップ
	・一冊の本で語りあえる(集える)	第1回ワークショップ
	・話しの出来る部屋。自販機もできれば	第2回ワークショップ
	・じっくり調べものをしたい	第1回ワークショップ
	・調べ物	第1回ワークショップ
	・ゆっくり調べる。	第1回ワークショップ
	・のんびり本を読みたい	第1回ワークショップ
	・ゆっくり本を読む	第1回ワークショップ
	・ホテルのロビーのようなゆったりとしたスペース	第1回ワークショップ
	・いこい	第1回ワークショップ
	・休みの日にボーと本を読みたい	第2回ワークショップ
	・気分転換	第2回ワークショップ
	・無料又は安価でかりられるスペースがあるといいな	第1回ワークショップ
	・会議室設ける。収容40名。貸出す。	第2回ワークショップ
	・会議は出来るだけ多くしてほしい。大きな声を出して問題がない程度。	第2回ワークショップ
	・同好会の人があつまれる小さいミーティングルームがある	第2回ワークショップ
	・自然と交流できるようなスペースづくり。子どもコーナーと高れい者	第1回ワークショップ
	・人との交流	第1回ワークショップ
	・同世代の人と知り合う。	第2回ワークショップ
	・人が集える場	第1回ワークショップ
	・高梁の事ならなんでもわかる。本と人	第1回ワークショップ
	・高梁に訪れた人も使える。情報提供	第1回ワークショップ
	・畳の間設ける。親子の利用可。	第2回ワークショップ
	・たたみの部屋 ねころがって本を読む	第2回ワークショップ
	・作業をしたい	第1回ワークショップ
	・研究、コピー、整理などスペース欲しい	第1回ワークショップ
	・季節、行事紹介コーナーがある	第2回ワークショップ
	・情報コーナーが充実している(ペタペタはれるボードとか)	第1回ワークショップ
	・「方谷」コーナーがあったら	第2回ワークショップ
・山田方谷、神楽の資料充実	第2回ワークショップ	
・DVDの整備、貸出し	第2回ワークショップ	
・木かげの下でいすにすわって本を読む	第2回ワークショップ	
・親子で楽しむ	第1回ワークショップ	
・特に子供たちの事を考え、本の並べ方を幼児棚、1・2年棚、3・4年棚	第2回ワークショップ	
・本貸出の検索は借りる人にしてもらう	第2回ワークショップ	
・公共コーナー	第2回ワークショップ	
・一人学習用自主机にすわって勉強する	第2回ワークショップ	
・自宅の居間(こたつなど)	第1回ワークショップ	
・禁止されていることが多い”静かに!”	第1回ワークショップ	
・新刊コーナー	第1回ワークショップ	
・ソフトな読書施設	第2回ワークショップ	
・手軽にDVDなど視聴できる室	第1回ワークショップ	
・会議室を設ける事ができたら展示の関連も増える	第2回ワークショップ	

分類	意見	区分
スペース	・寝ころがえるところ(マンガ館のような)	第1回ワークショップ
	・PCやタブレットを使いたい	第1回ワークショップ
	・雑誌、新聞が買える。	第1回ワークショップ
	・部屋数を多く。	第2回ワークショップ
	・保育施設の併用	第2回ワークショップ
	・ボランティア用設備をぜひ	第2回ワークショップ
	・録音室が必要	第2回ワークショップ
駐車場	・駐車を2階建て	第2回ワークショップ
蔵書	・マンガ	第2回ワークショップ
	・いろんな分野の本が読める。	第2回ワークショップ
	・月刊誌の幅をもっと広く	第2回ワークショップ
	・雑誌(ビジネス書なども)充実	第2回ワークショップ
	・旅行(るるぶ)雑誌が多い	第2回ワークショップ
	・新刊本をもっと多く	第2回ワークショップ
	・(その日の)新聞、(新刊)雑誌を読み	第2回ワークショップ
	・買うと高い本、専門書は頼む事で購入して欲しい。	第2回ワークショップ
	・専門書を含めグローバルな蔵書と体系的な関連	第2回ワークショップ
	・仕事でもつかえる。個人だけでなく	第1回ワークショップ
	・仕事の資料をさがした	第2回ワークショップ
	・高れい者が利用できる図書(字が大きいとかCD, DVDの充実)	第1回ワークショップ
	・点字図書の充実を。	第2回ワークショップ
	・家庭に不要の本等寄付してもらえば	第2回ワークショップ
備品等	・本の位置が高すぎず、低すぎず取り易い図書館がいい。	第2回ワークショップ
	・椅子に工夫を(ソファなど)	第2回ワークショップ
	・返却本を県立図書館なみに機械化、自動化処理する必要である省力・正確さの追求をめざし検討してもらいたい。	第1回ワークショップ
	・視覚障害者用CD作成の為の機器	第2回ワークショップ
	・ネットワークは図書館のみでなく、Webの範囲を幅広く拡大するべきである。 例: ホワイトハウス 大英博物館	第1回ワークショップ
	・地元のこと知る(市内のイベント、講演会)	第2回ワークショップ
サービス	・勉強以外にも趣味や遊びについて情報をもらう。	第2回ワークショップ
	・情報発信「インフォメーションボード…」図書の書評を	第1回ワークショップ
	・新図書館のイメージをPRする	第1回ワークショップ
	・館のPRを積極的に	第2回ワークショップ
	・郷土のイベント紹介	第2回ワークショップ
	・市内の学校(幼、小、中、高、大)の様子や展示が見られる。	第2回ワークショップ
	・市内の企業の情報(就職)が得られる。	第2回ワークショップ
	・移動図書館の効率良い方法を。病院、介護施設などに・・・。	第2回ワークショップ
	・本や雑誌がすぐ出て来る	第1回ワークショップ
	・すぐ利用できる。便がよい。	第1回ワークショップ
	・レファレンスのイメージは子供、老人、研究者、労働者	第1回ワークショップ
	・いらなくなった本の持ち込み	第2回ワークショップ
	・図書貸出の傾向によりニーズの把握ができるユーザの大勢によって図書購入等に反映させるべきである。	第1回ワークショップ
	・利用者が求める多様なニーズを幅広く把握するには、如何なる手法をとるか、硬直した態勢ではニーズ把握は困難なようである。	第1回ワークショップ
	・CD, DVDレンタル	第2回ワークショップ
	・USBなどで保存して家でも読めるサービスがあるといい。	第2回ワークショップ
	・落ち着いて読みたい本を図書館で預かってもらえるか?	第2回ワークショップ
	・図書館以外でも本を返却できる。(病院、スーパー、コンビニ等)	第2回ワークショップ
	・個人、団体よりの図書の寄付は尊重すべきである。寄付された方の善意にむくいるためには誠意をもって対処していただきたい。	第1回ワークショップ
	・大人、子供の区別がない	第1回ワークショップ
	・古書の処理をどうするか?単に廃棄のみにとどめるべきではない。	第1回ワークショップ
・予約すれば時間外でも借りられる	第1回ワークショップ	
・調べたい事がすぐわかる	第1回ワークショップ	

分類	意見	区分
サービス	・経営学などの専門を調べる際に同時に専門機関と連携してサポートを受けられるようにしてほしい。	第2回ワークショップ
	・リクエスト本を早期購入を	第2回ワークショップ
	・文庫本の自由貸出し拡大を	第2回ワークショップ
	・リクエストがきいてもらいやすい。	第1回ワークショップ
行事	・年何度が図書館祭りも	第2回ワークショップ
	・イベントがほしい。①年間スケジュール②絵画、音楽、テーマのある講演スペース(年間)	第1回ワークショップ
	・講座が充実しているといいな	第1回ワークショップ
	・特に小学生対象図書館見学は利用授業を・・・	第2回ワークショップ
	・レファレンス 読書感想の書き方、講座など	第1回ワークショップ
	・図書館職員の出前教室。本に親しむ子育て向上を。	第2回ワークショップ
	・読書会	第1回ワークショップ
	・読書会(1冊の本について話し合う)	第2回ワークショップ
	・古本市	第1回ワークショップ
	・古本市やボランティア、寄付	第2回ワークショップ
開館時間	・利用時間が長い	第1回ワークショップ
	・開館時間の問題。働いている人は利用可能か。	第1回ワークショップ
	・図書館開館時間の延長	第2回ワークショップ
	・開館時間が少しでも長い。	第2回ワークショップ
	・学生がバイト(開館時間延長)	第2回ワークショップ
	・365日開館。朝早く～夜おそくまで	第2回ワークショップ
	・開館日の検討において整理日を理由として一週間休館は長すぎる。できるだけユーザーの為に図書館を開放すべきである。	第1回ワークショップ
職員	・職員が専門的で詳しい図書館がいい。	第2回ワークショップ
	・本のソムリエがいる(本のことで相談にのってくれる)専門職	第2回ワークショップ
	・優秀な司書さんがいる	第1回ワークショップ
	・図書館と人をつなぐ役割をする人	第1回ワークショップ
	・職員体制ではボランティアの活用が必要である。	第1回ワークショップ
運営	・本の整理、案内ボランティアがいる	第2回ワークショップ
	・クラシックのBGMがながれているところですわりごちがよい(スタバにあるような)ソファにすわって本を読む	第2回ワークショップ
	・市民の学習に生きる図書館へ	第1回ワークショップ
	・書物ばなれをなくする図書館へ	第1回ワークショップ
	・スターバックス、TSUTAYAに頼む(東京、佐賀)	第2回ワークショップ
	・高齢者が集える	第1回ワークショップ
	・環境文化施設との関連	第2回ワークショップ
ネットワーク	・市外の人も利用できる(高梁の図書館いいらしいよ)	第1回ワークショップ
	・市街地に置くと中山間の人々利用は!工夫?	第1回ワークショップ
	・マンガの本も読める(川上まんが博物館とのネットワーク)	第2回ワークショップ
	・県、図書館との連携	第2回ワークショップ
	・県内の図書館とネットワークを拡大してほしい	第1回ワークショップ
ボランティア	・吉備国の大学の書も利用できる	第2回ワークショップ
	・サビエ図書館との連携	第2回ワークショップ
その他	・子どもに絵本の読みきかせ	第2回ワークショップ
	・図書館、集いの中から〇〇話題に対応してグループの誕生	第1回ワークショップ
	・基本計画の中・・・生涯学習の推奨となる場(とは何?)	第1回ワークショップ
	・他図書館の見学会を(特に県立)	第2回ワークショップ
	・図書館協議会のメンバーには市民代表の参加を検討すべきである。	第1回ワークショップ
その他	・市、県民 特定の使用者が多くないか	第2回ワークショップ
	・花の健設、涙のメンテ、老朽化に関し、いかに備えるか?	第1回ワークショップ